

議 平生町  
**議会だより**

第 140 号

2016 年 4 月 22 日

発行 平生町議会  
 〒742-1195  
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
 発行責任者 福田 洋明  
 編集 議会広報広聴調査特別委員会



卒園おめでとう（平生幼稚園卒園式 3月23日）

**3 月**  
**議会報告**

定例会	2ページ
常任委員会審査報告	3ページ
いっぱん質問	4ページ
議会の動きなど	12ページ

# 28年度 予算審議

平成28年第1回平生町議会定例会が、3月9日から22日までの14日間の日程で行われ、議案として、平成27年度補正予算8件、平成28年度予算7件、条例15件、事件3件、承認2件、同意2件が上程されました。各議案は、全会一致及び賛成多数で可決、承認されました。一般質問では8人の議員が町政の諸課題について質問しました。

## 特別会計

▽国民健康保険事業

19億8,957万円

▽下水道事業

6億6,902万円

▽漁業集落環境整備事業

8,689万円

▽熊南地域介護認定事業

2,780万円

▽介護保険事業

13億162万円

▽後期高齢者医療事業

2億1,793万円

## 承認

▽平生町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分承認について

他1件

## 条例

▽町長等の給料の特例に関する条例の全部を改正する条例

町長20%、副町長15%

▽教育長10%の給料減額

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

他13件

## 事件

▽公の施設に係る指定管理者の指定について

▽広島市と平生町との連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

他1件



平成26年度の普通会計決算まで3年連続で実質単年度収支が赤字となっている。これは、財政基金からの取り崩しが積み立てを上回ったことによるものであり、基金依存体質が改善されていないことを示すものである。平成27年度末の財政基金残高は3億7,022万円の見込みで、厳しい財政状況である。

平成28年度予算においては、重点施策を着実に実施するため、「第6次行政改革大綱実施計画」の実践により財源の確保を図り、将来にわたって持続可能な財政構造を構築していく。

予算編成に当たっては、新たな編成方式である「一般財源ベースでの枠配分方式」による編成を各課に指示をして、経常経費の肥大抑制に努めた。

- 【みんなの笑顔が輝くまち】
  - ・柳井市、田布施町と共同での病児・病後児保育事業 678万円
  - ・熊毛郡3町共同でコングラクターを配置し、コミュニティスクールの充実形成 69万円
  - ・ICT機器導入(佐賀小) 140万円
  - ・英語検定試験受験料を助成し、英語指導助手を1名追加配置、2名体制で幼稚園までを含め支援 299万円
- 【快適で住みよいまち】
  - ・第3庁舎外壁改修 1,200万円
  - ・空家等対策計画着手 4万円
  - ・佐賀地区の高潮対策 2,400万円
  - ・中央公民館耐震化・改修工事の実施 8,464万円

- ・特定健診の受診率向上の取り組みを拡充 978万円
- ・柳井広域圏共同で産科医師の確保支援 30万円
- ・生活弱者の医療費支援(福祉医療対策費) 8,550万円
- ・児童手当支給 1億7,179万円
- 【活気に満ちた明るいまち】
  - ・起業支援事業 300万円
  - ・広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会への参加 26万円
- 【一人ひとりが主役のまち】
  - ・地域おこし協力隊(10月より2名入付) 486万円
  - ・同窓会支援事業 25万円
  - ・自治会活動費交付金(本年度より空き家改修・活用に補助) 1,360万円

一般会計の予算総額は、48億8,000万円、前年度比1,300万円、0.3%減少である。

人口減少や少子高齢化等の本町の取り巻く状況の変化や町民のニーズを的確に反映した「まちづくり」を推進していくという思いを込めて、予算編成テーマを『協働』と持続可能なまちづくりの実現と定めた。

他1件

# 平成27年度 補正予算 2,432万円追加 総額 51億3,408万円

## 補正予算

- ▽山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員の補欠選挙 85万円追加
- ▽自治体情報セキュリティ対策 1,172万円追加
- ▽老人福祉総務費のねんりんピック実行委員会補助金 570万円減額
- ▽予防費及び健康づくり推進事業費 355万円減額
- ▽周東環境衛生組合への負担金 312万円減額
- ▽土地改良事業費 459万円減額
- ▽河川維持改良費 416万円減額
- ▽下水道整備費 864万円減額
- ▽非常備消防費 510万円減額
- ▽教育総務費 101万円減額
- ▽教育振興費 372万円減額
- ▽国民健康保険事業 7,065万円減額
- ▽下水道事業 2,267万円減額
- ▽漁業集落環境整備事業 118万円減額
- ▽介護保険事業 2,748万円減額

## 特別会計

## 総務厚生常任委員会

平成28年3月11日の本会議から付託を受けました所管事項について、3月15日、慎重に審査した結果、賛成多数及び全会一致で可決しました。

主な審査経過は次のとおりです。

### 補正予算

総務管理費の減額理由は、

まちづくり受託研究事業負担金は予定していた県立大学には委託せず自前で行った。コミュニティ助成事業補助金は県の選考から漏れた。報償費の記念品は見積もり以上の安価でできた。遊具点検は一括発注による入札減。

### 新年度予算

ふるさと納税の今後返礼品の拡充やクルジット決済、ポータルサイトの導入を行い、500万円以上を目標に取り組む。

## 産業文教常任委員会

平成28年3月11日の本会議から付託を受けました所管事項について、3月16日、慎重に審査した結果、議案はすべて全会一致で可決しました。

主な審査経過は次のとおりです。

### 補正予算

下水道整備費の物件移転補償費での当初の予定と結果は、

当初は家屋損失と水道管の移設の補償を想定していたが、家屋の補償がなく、水道管移設の減額があった。

### 新年度予算

立木補償金額が変わらない理由は、

約10年前に、草刈りの際、苗木を誤伐したため賠償している。交渉が難航しているが法的対応も含め今後とも交渉していく。

柳井市と関連する市町と県を含めて引き続き国に対し要望する。

町営住宅環境の維持管理はどうしているのか。

草刈りなど維持管理は道路作業員や入居者に頼んでいるが、十分でない現状であるため、老朽化と合せで考えていく。

公民館の耐震化・改修の内容と時期は、

工期は4カ月程度、時期は5月の中央公民館まつり以降で建設課と協議し決定する。3階トイレは既に洋式化しており行わない。

## 特別会計

使用料に結びつく、下水道接続の数値の目標の根拠は、

今までの数値をもとに、それ以上の数値設定を行いたい。

汚泥減容化の方向性は、

様々な方法を検討しているがコストの問題等もあることから、現在、いろいろな角度から検討している。

## 反対討論

基金依存体質脱却への取り組みが見えない。歳出の計画性がない。自主財源確保の方向性が見えないを理由に反対する。

## 反対討論

9基のモーターサイレンの供用開始に伴うもの。

## 反対討論

近年の町長等の給料について単年度ごとに減額する行為と、報酬審議会に諮問しないスタンスの整理を行い、任期内で考えるべきだ。



河藤泰明 議員

# いっばん質問



が聞きたい

## 質 備災・減災への取り組みは

### 答 消防団の安全確保・スキルアップに努める

質

多くの消防団員が命を落とした東日本大震災から丸5年、平生町消防団の減災・備災の取り組みをたずねる。消防団員を育成する仕組みも大切だ。いつか起きる大地震、少子化も、高齢社会も、財政難も、いま降って湧いたものではない。正しい情報や数字を直視し、備災・減災に努め「人災」だけは避けなければならない。

答

町長

東日本大震災から5年を迎え、防災・減災・備災の気持ちを新たにしたい。献身的に活動に当たる団員の安全確保は大なる課題と受けとめている。訓練や研修を積極的に行うことに合わせて安全な環境の中で活動できるように装備の充実にも取り組む。現場での状況を踏まえ、広域消防組合とも連携をとり、情報交換をしながら、スキルアップに努める。



出初式での行進（1月4日）

## 質 総括と期待することは

### 答 耐震化とコミュニティスクールの推進に取り組んだ

質

新教育委員会制度への移行の折、任期半年を残し、後進に道を譲りたいと、勇退される高木教育長にたずねる。行政の事務方トップから、教育長になられ、社会教育・学校教育にと、全力を注がれた。自ら本気で取り組まれる姿は、子供たちの心を動かしたと感じる。教育長在任中の総括と、今後の平生町の教育行政に期待することをたずねる。

答

教育長

就任時、町長から学校施設の耐震化とコミュニティの推進という命題を与えられた。耐震化は100%完了した。コミュニティスクールの推進に合わせて地域協育ネットの文部科学大臣表彰受賞があった。子どもたちは、15歳までは人としてしっかり成長してほしいし、大人がそれを支えてやる教育行政であってほしい。



耐震化の終わった平生小学校



淵上正博 議員

**質** 雇用促進住宅、住居者の定住対策は

**答** 町内に住み続けてもらえるよう考えていく

**質**

雇用促進住宅は、自治体への譲渡が進まない事を理由に「廃止・民間への売却」へと大きくスタンスを変え、2021年度までに事業を中止する。  
①雇用促進住宅の、今後の計画は。  
②雇用促進住宅の住居者は約32名と聞いている。  
廃止になると現状のままでは必ず人口減少につながる。定住対策は。

**答**

町長

国は雇用促進住宅を2015から2017年で民間への売却を進め、売却できずに用途廃止するとなれば、入居者は2018年頃から退去となる。  
相談窓口の明確化、各課の連携、空き家の活用等で定住につながる対策を考えていく。

**質**

建設課長

雇用促進住宅の廃止に伴う町営住宅への優先入居は、国からの通知で特定入居者扱いに該当しない。



廃止が予想される大野雇用促進住宅

**質** 医療費削減においてジェネリック医薬品の推奨は

**答** 引き続き普及につとめる

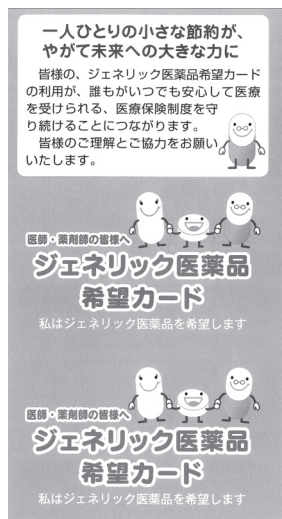
**質**

当町の医療費は、県内でも上位に位置づけている。  
現時点では、医療費削減対策を進めていかなければならない。  
その対策の一つとして、ジェネリック薬品の推奨をしようか。  
①町内及び近隣のジェネリック薬品の普及率はどのようになっているか。  
②近隣の医療機関内での推奨対応をしようか。

**答**

町長

平生町におけるジェネリック薬品の利用率は県平均57.6%に対し、64.1%と高い状況にあるが、医療費の削減には直結しておらず、差額通知制度や希望カードの配布などの普及対策を支援していく。  
現在、山口県後発医薬品使用促進連絡会議では、国保だけでなく全ての医療機関でジェネリック薬品を有効的に促進しようとしている。



病院で配布されているジェネリック希望カード



中川裕之 議員

### 質 太陽光発電の開発状況は

### 答 景観等を含め苦情は寄せられていない



町内に多くあるメガソーラー

質

普及が進んでいる太陽光発電は、全国的にみれば利益を優先するあまり、環境に配慮しないケースもあり、地域と友好な関係を築けない場合も出て来ている。ある市では再生可能エネルギー推進条例を策定して調整に乗り出す所もある。また、太陽光に関する日本で初の訴訟も起きています。

答

町長 太陽光発電は、固定価格買取制度により、全国的に広がりを見せている。平生町にもメガソーラーが8基、それ以外にも農地を転用して設置された施設が平成24年度から27年度までで80基ある。基本的には所有者の同意で設置が可能である。現在のところ、景観等に対する苦情は寄せられていない。

### 質 子育て支援をきく

### 答 各課で子育て支援プロジェクトを進めている

質

少子高齢化と人口減少社会へ向かう状況であるが、国の政策目標でも減少に歯止めをかけて出生率も1.8人を目標にしている。そこで本町の子育てに関するトータル的な支援について問う。若者の出会いから結婚までの具体的なサポートは、成長過程の保育サービス全般的な事業については、また、児童手当を含む経済的な支援はどのようにになっているのか。

答

町長

柳井広圏域で婚活イベントを行っているが、毎回定員を超えるほど人気が高く、何組かのカップルができています。

健康福祉課長

病児病後児保育事業・児童手当支給事業・乳幼児医療費助成事業・児童扶養手当支給事業を行っている。

教育次長

私立幼稚園就園奨励費補助金交付事業により、一定条件のもと、入園料及び保育料の減免をしている。



平生幼稚園卒園式



細田留美子 議員

### 質 児童館と児童クラブの現状と課題について

#### 答 各課連携して場所の確保に努める

質

児童館は子どもの居場所や子育て支援を担う役割がある。しかし児童クラブの施設だと思われている。運営理念とクラブ以外の来館児の利用状況を聞く。児童クラブは昨年から6年までの利用が可能となった。現在の規模では3クラスが望ましい。佐賀の児童クラブも含めて各小学校等への移設はどうか。

答

町長

児童館は、18歳未満の全ての子供の健全な成長を目的とした施設である。児童クラブの児童の利用が6割で、来館児童（児童クラブ以外）とも自然に交流している。

答

教育長

現時点で、平生小の教室はクラブに開放できないと考えるが、働き家庭の子育て支援のために何らかの対策を講じたい。



中央児童館まつり

### 質 女性職員の登用推進を

#### 答 女性活躍推進の環境づくりに取り組む

質

性別による雇用差別をなくす男女機会均法ができて30年。男女共同参画基本法から16年が経過したが庁内では女性の登用が進んでいない。職員の30%が女性だが課長クラスに女性が一人もいない。女性が戦力として認められていないのではないかと。職員の数が増やせない中大きな課題だ。女性活躍推進法ができたが平生町の取り組みはどうか。

答

町長

特定事業主行動計画の指針として、管理職に女性が占める割合の目標を30%に定め、環境づくりに取り組んでいきたい。できるだけ女性が活躍し、能力が発揮できるような人事を進めたいが、女性職員も戻込みをせず、「よし、やってみよう」という気になれる環境ができるように配慮したい。

#### 6つの基本理念

- (1) 男女の人権の尊重
- (2) 社会における制度又は慣行についての配慮
- (3) 施策等の立案及び決定への共同参画
- (4) 家庭生活における活動と他の活動の両立
- (5) 生涯にわたる性と生殖に関する自己決定の尊重及び健康への配慮
- (6) 国際社会の動向の勘案

男女共同参画の基本理念





中本敦子 議員

### 質 財源難の平生町を問う

答 厳しい中ではあるが一定の成果を得ている

#### 敬老祝金の支給対象と金額

平成26年度	85・90・95歳	1万円
	100歳・最高齢	2万円



平成27年度	85・90・95歳	5千円
	100歳・最高齢	1万円



平成28年度	90・95歳	5千円
	100歳・最高齢	1万円

**質** 財源なくして発展なしと単独市政を貫き4期16年で県内トップの健全財政力誇る市長が引退する。財源なくして政策なし。財源難の平生町は大丈夫か。

在任17年間に単独町制を決めた根拠と選択後の自己評価を問う。

一例、27年敬老祝金は1万円から5千円にカット、さらに今年支給年令も上がり町民にしわよせか。

儉約、我慢も大切だが財源を増す対策は。企業誘致は。夢のある改革を問う。

**答** 町長

1市3町の合併協議が白紙に戻った後、緊急行財政改革プログラム等施策を進めてきた。単独町制選択後の実績としてこの10年、学校の耐震化推進、防災行政無線の設置、協働のまちづくり条例の制定等がある。自己評価ではあるが、厳しい状況中で一定の成果を得ることができたと考えている。

町税等の徴収対策強化、使用料及び手数料等の適正化、新たな税の検討等安定的な財源確保に努めたい。

### 質 空家対策について

答 総合的かつ計画的に実施していく

**質** ①平生町の人口の推移②家の戸数③その内空家は何戸④空家はどの地区が多いか、5年ごとの推移を20年からたずねる。

今迄の対策と今後の対策を問う。

町営住宅の空家が現在46戸ある。一年放置すれば住めない、すぐ修理し2人住んだとして100人弱の人口増、商店等々町は潤う。町営住宅の環境整備は模範となる配慮はどうか。

	人口	世帯数	家屋の棟数
H6年	14,068	4,978	4,958
H11年	13,958	5,271	5,450
H16年	13,688	5,468	5,711
H21年	13,099	5,508	5,820
H26年	12,617	5,614	5,932

20年間の推移

**答** 町長

苦情が寄せられている空家の総物件数が現在27件で、内訳は平生町・平生村地区12件、大野地区2件、曾根地区6件、佐賀地区7件である。実態調査をもとに空き家のデータベース作成に取り組み、これをベースに総合的かつ、計画的に対策を進めていきたい。



問題となっている町内の空家





河内山宏充 議員

**質** 経常経費削減を提案

**答** 議会の方向性と併せて適切に対応したい

**質** 第六次平生町行政改革実施計画、経常経費削減の推移のなかで、経費削減計画を平成28年度中に検討、計画を策定し、平成29年度から実行し歳出の抑制を図るとされている。削減策のひとつとして、まずは「特別職の期末手当に対して支給されている加算措置」を削減することを提案する。町長はどう考える。

第7条 町長等の期末手当は、一般職の職員の給与に関する条例を準用する。(中略) 同条第4項中「職員が受けるべき給料及び扶養手当の月額合計額」とあるのは「町長等が受けるべき給料月額及び当該給料月額に100分の30を超えない範囲内で町長が定める割合を乗じて得た額の合計額」とする。

町長等の給与に関する条例

**答** 町長 特別職の期末手当の加算処置については、町長等は平成14年から100分の30のところを、100分の10にしている。ご提案に対し、議会の総意として議員の方の協力をいただければ議長と協議を行い、適切な対応をしていきたい。

**質** 商店側の調査は

**答** 調査はしていないが商工会と協議していく

**質** 地域通貨の可能性を含めた問題があるとして、当町のプレミアム付商品券事業を注目していた。プレミアム付商品券を購入、使用した個人の調査結果は拝見したが、プレミアム付商品券を使用した小売店・飲食店・サービス業側の調査はしたのか。

**答** 町長 本町におけるプレミアム商品券事業の実績は9万6000枚の99.93%が使用され、小売業の中で大型店での使用率が82%であった。参加された商店側の調査はしていないが、商店の対応については今後の課題として、商工会とも協議していく。



プレミアム商品券の販売風景



松本武士 議員

### 質 平生町の活性化は

### 答 新年度から食育推進ネットワーク連絡会議を立ち上げる

質

「健康寿命日本一を目指す町民会議」に平生町の農業生産者に加え機能性を持つ作物の振興を行っては。

室津半島がイタリア半島に似ているとの構想で観光振興をしようとしているが、室津半島には1市3町の自治体がある。今後の自治体間の連携は、どのようにすすめていくのか。

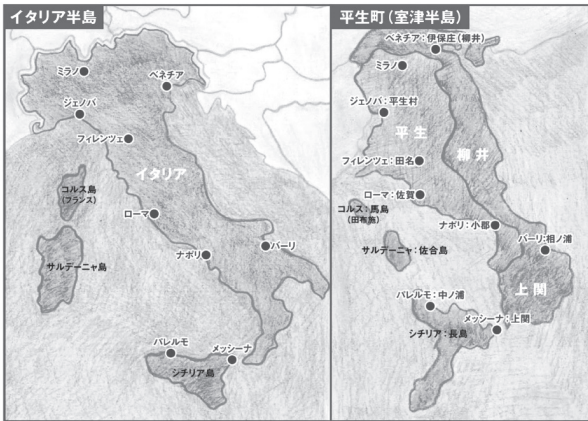
「ヘルスツーリズム」をやってみてはどうか。

答

町長

平生町健康づくり計画に基づいて新年度から健康寿命につながる食育推進ネットワーク連絡会議を進めていく。その中で機能性農作物について検討課題として取り組む。

イタリア半島構想については、若い人たちの議論をもとに、取り組みを進める。ヘルスツーリズムはこれから大きなテーマとなるので勉強したい。



### 質 行政改革について問う

### 答 財政危機打開に向けて取り組む

質

町民に財政が危機的な状況であることを認識していただくために「財政危機宣言」をしてはどうか。

縮小社会の行政改革では、町民の皆さんの協力が需要である。町長自ら各地に出向いて、説明するのか。

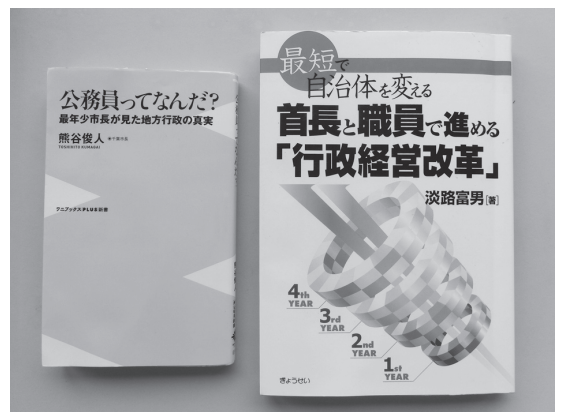
町民との距離を縮めるために「ソーシャルネットサービス」を活用して自ら発信してはどうか。

答

町長

厳しい財政状況の中で、将来に向けて手を打っていく必要がある。財政危機宣言については、すぐにでも財政が破たんするという受け止めが先行して困ったという実例がある。財政問題は大きなテーマとして懇談会等で町民に説明していきたい。

ソーシャルネットサービスについては、フェイスブックを開設したが活用できていないので、今後も検討を続けていきたい。





岩本ひろ子 議員

### 質 人事評価制度について

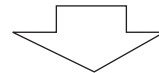
### 答 公正、適正に実施する

#### 人事評価制度

任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とするために、職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力及び挙げた業績を把握した上で行われる勤務成績の評価

能力評価：職員の職務上の行動等を通じて顕在化した能力を把握

業績評価：職員が果すべき職務をどの程度達成したかを把握



能力本位の任用

勤務成績を反映した給与

厳正、公正な分限処分

効果的な人材育成

<総務省ホームページから>

#### 質

人事評価制度の実施に取り組まれるが、上司による評価という事だけでは上ばかりを向いた職員が有利となってしまう。町民にとって有益な職員に良い評価をしなければならぬ。職員の給与改定については一律ではなく、相対評価をして限られた給与費を配分すること。上下関係のない外部評価の活用について問う。

#### 答

町長

人事評価制度は、国県では平成21年度から導入されている。本町においても、28年度から全職員を対象に実施していく。評価については、外部評価を含めて考えていかなければならない。副町長をトップに職員7名で、人事評価制度検討チームをつくり、制度を公正、適正に実施していく。



加村千里氏

固定資産評価  
審査委員

平成28年3月22日で固定資産評価審査委員久保徳行氏の任期満了に伴い、新しく加村千里氏の選任に対し、全会一致で同意しました。



新田保弘氏

教育長

今回、高木哲夫氏の教育長辞任に伴い、新しく新田保弘氏の任命に対し、全会一致で同意しました。

平成28年第1回定例会において、同意2件が提出され、全会一致で同意しました。

# 議会広報広聴調査

## 特別委員会研修報告

議会広報広聴調査特別委員会は、2月1日、2日二日間、佐賀県の基山町、太良町へ広報紙づくりにおいて意見交換を行いました。広報づくりについては、両町も平生町と同じような考えを持っておられ、全町民にどのようなすれば読んでもらえるか、日夜研鑽されていました。

平生町との違いは、両町とも表紙と裏面はカラーとなっており、2ページ目からは2色刷りとなっており、すぐ見やすい広報紙となっていました。太良町においては少しでも読んでもらえるようにと、クイズを最終ページに載せていました。

の報告があり、薄謝もついでにしました。基山町では、議会広報で次の議会の会議日程(予定)を掲載し、傍聴者の計画が立てやすくしていました。平生町においても、議会運営委員会を検討し、今回の広報紙から掲載することにしました。



基山町での研修風景

### 平成28年6月 定例会会期(予定)

6月14日(火)	9時	本会議
15日(水)	9時	本会議
6月20日(月)	9時	産業文教 常任委員会
6月21日(火)	9時	総務厚生 常任委員会
6月24日(金)	10時	本会議

## 議会の動き

(H27・12/11)  
(H28・3/8)

27年 12月11日	第7回定例会	1月13日	議会広報広聴調査特別委員会
12月22日	平成27年柳井地区広域消防組合議会第2回定例会	1月28日	議会改革調査特別委員会
12月24日	田布施・平生水道企業団議定例会	2月1日	議会広報広聴調査特別委員会行政視察
12月25日	柳井地域広域水道企業団議定例会	2月2日	政視察
12月28日	議会広報広聴調査特別委員会	2月17日	議会改革調査特別委員会
12月29日	柳井地域広域水道企業団議定例会	2月18日	総務厚生常任委員会
12月30日	柳井地域広域水道企業団議定例会	2月22日	産業文教常任委員会
12月31日	柳井地域広域水道企業団議定例会	2月22日	平成28年柳井地区広域消防組合議会第1回定例会
1月6日	議会広報広聴調査特別委員会	2月24日	議会運営委員会
1月7日	議会広報広聴調査特別委員会	2月29日	議会全員協議会
1月8日	議会広報広聴調査特別委員会	3月3日	周東環境衛生組合議会定例会

## 原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内  
・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者  
紙面の都合で一部変更することもありますが、ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

## 編集後記

4月2日、「土手町南畜種移築復元完成記念行事」が桜咲く青空のもと行われました。大野毛利初代就頼の命で横道忠右衛門が実現した平生開作で、土手町南畜種は大内川排水機場完成までの約300年間平生の土地を守ってくれました。開作工事の際には何人も人が亡くなったそうです。先人が命を投げ出してまで守ってくれたことに感謝し、この土地を私たちは、色々な方々と手を取り合って守っていかねばならないと思った記念行事でした。3月議会で成立した新年度予算では、「地域おこし協力隊」を秋から2名、呼ぶことになっています。この町を私達が、どう守っていくのかがこれから試されます。

松本武士